

# どんまい

上尾市議会議員 浅野目義英

上尾市議会報告・第34号/1998年10月

**あさのめ後援会**

☎ 362-0021 上尾市原市 3669-1 Tel・Fax048-723-0655 Email:asanome@netweb.or.jp

## 借金体質脱し足腰強い上尾をつくれ!

### 新世紀に広域合併絶対必要

上尾市の高齢人口（65歳以上人口）が今年10月に初めて10%を超えました。2020年には、日本は25%を突破して世界一の高齢国になることが推定されています。上尾市も同様に確実に高齢化へ向かうことが予測されます。

また上尾市人口は約21万となりましたが、人口増加率が鈍化してきました。昭和45年の人口増加率日本一のおもかげはありません。日本は100年後人口が半分の約7000万人になってしまうと予見されています。上尾市も例外ではなく、来世紀前半には、人口の伸びが止まりダウンしていくことがわかります。

こどもの数が減り、しかも全人口が減少していくところに問題の根幹があります。21世紀は、税収の衰えが避けられず、社会全体が活力を弱めてしまう時代となりそうです。それは、私たちがかつて経験したこない時代ともいえます。

今までの上尾市は「財源は借金でまかなえばいい」という安易な考え方が支配的でした。現在の市債残高は約580億円。普通会計ベースですから、特別会計も含めると膨大な額になります。この3年で2倍にもなってしまいました。経常収支比率88.7%は埼玉県内最悪の数値です。

高齢社会を迎え重税感を持ち始めた住民から、市ごとに類似の施設が建ち並び公務能力の低さを指摘する不満の声があがりつつあります。（大宮市と上尾市の環境センターは隣り合って建っています）

私は、現行市域の保持にしがみつくと必要は全くなく、生活圏と行政権の不一致を解消させ、質の高いサービスを提供するための足腰強い広域都市を創造することが、何よりも必要と考えています。

それが厳しいこれからの時代を乗り越え上尾を蘇生させる唯一の方法であると、私は確信し行動していきます。（浅野目義英）

上尾市	人口	平均年齢	上尾市	経常収支比率	市債残高
昭和40年	54776人	28.27歳	平成6年	83.1%	297億
昭和50年	146358人	27.56歳	平成7年	83.1%	386億
昭和60年	178587人	32.10歳	平成8年	88.7%	506億
平成7年	206090人	37.10歳	平成9年	86.8%	576億

# あさのめ・議会活動報告

## 上尾市議会「市政に対する一般質問」における発言

情熱失えば議員ではありません。議員の使命として必ず一般質問をするようにしています。毎回 20 名程度の支持者の方々に傍聴していただいておりますが、是非市議会を傍聴して頂けますことをお願いいたしたく思います。詳しい内容については、私の要求もあり、インターネットの上尾市議会サイトが間もなく開かれ閲覧できることになっています。また、私の 16 年間の市議会発言全記録を網羅した拙著「扉を開ける!」を来夏発刊する予定です。

### 平成 9 (1997) 年 6 月議会

- 1、『上尾市都市問題等調査報告書』を作成した野村総研の都市論オンチを批判する。
- 2、埼玉県からの天下りの受け入れを拒否し上尾市役所職員自身のエネルギー高めよ。

### 平成 9 (1997) 年 12 月議会

- 1、辞職した市議が実質オーナーだった倒産した建設会社の市発注事業は停滞ないか。
- 2、誤認工事で水道管接続不能となった事故について水道部の責任明らかにするべき。
- 3、上尾市財政当局は県内最悪の市債残高や経常収支比率みつめ繰上償還の努力せよ。
- 4、上尾市の情報を全国に発信するインターネットのホームページを開設するべきだ。

### 平成 10 (1998) 年 3 月議会

- 1、助役は 1 人しかいないのに上尾市条例では 2 人と記載、すばやく条例を改正せよ。
- 2、ごみ収集表の「毎週第〇曜日」との表記を「△日」とわかりやすい数字表記にせよ
- 3、各種審議会は再編成再検討加えられるべき市民公募制度というカンフル剤を打て。

### 平成 10 (1998) 年 6 月議会

- 1、疑惑解明につながる重要文書紛出した管理責任を問いそのペナルティーを求める。
- 2、子どもたちの心のために学校にはもっともっと緑と花があったほうがいいと思う。

### 平成 10 (1998) 年 9 月議会

- 1、原市の交通渋滞一気に解決する第二産業道路完成目指し建設積極的に進めよ。
- 2、原市の町名整備に当たり原市 11 区の存在をないがしろにするべきではない。
- 3、100 年前の原市小校長家里二郎氏が成し遂げた解放教育の実績に光与えよ。
- 4、原市出身の市職員他地区出身職員に比べなぜ著しく少ないのか理由こたえよ。
- 5、各種審議会の再編成再検討の手段として市民公募制度の実現再び強く求める。

### お知らせ

「浅野目義英・市政報告会」「1998 年忘年会パーティー」

1998 年 11 月 29 日 (日曜日)

報告会・午後 5 時から / 忘年会・午後 6 時から

むさしのグランドホテル ☎ 048-723-0001

(県道栗橋線沿い、ニューシャトル「吉野原駅」歩 3 分)

お問い合わせ ☎ 048-723-0655 浅野目まで



↑ 昨年の市政報告会の様子